

令和4年度 社会福祉法人新座市社会福祉協議会事業報告書

法人運営事業の実施

1 会議開催状況（理事会、監事会、評議員会等を次のとおり開催しました。）

会議名	月 日	主要付議（議決）事項
理事会	令和4年 6月7日 (出席理事13人 ・出席監事2人)	(1) 専決処分の承認を求めることについて 「令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会 社会福祉事業区分補正予算（第7号）」 (2) 専決処分の承認を求めることについて 「令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会 公益事業区分補正予算（第1号）」 (3) 令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会事 業報告の認定について (4) 令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会社 会福祉事業区分決算の認定について (5) 令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会公 益事業区分決算の認定について (6) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会評議員選任・ 解任委員会委員の選任について (7) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会評議員欠員補 充者の推薦について (8) 令和4年度第1回新座市社会福祉協議会評議員会 の開催について
	令和4年 9月2日 (出席理事13人 ・出席監事2人)	(9) 専決処分の承認を求めることについて 「社会福祉法人新座市社会福祉協議会職員給与 規程の一部を改正する規程」 (10) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会職員育児・介 護休業等に関する規則の一部を改正する規則 (11) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議 会社会福祉事業区分補正予算（第1号）] (12) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議 会公益事業区分補正予算（第1号）]

会 議 名	月 日	主 要 付 議 (議 決) 事 項
		(13) 令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会公益事業区分補正予算(第2号)
	令和5年 1月18日 (出席理事12人 ・出席監事2人)	(14) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程 (15) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第2号)] (16) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会公益事業区分補正予算(第3号)] (17) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会理事候補者の推薦について (18) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について (19) 令和4年度第2回新座市社会福祉協議会評議員会の開催について
	令和5年 2月15日 (出席理事12人 ・出席監事2人)	(20) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会定款第19条第2項に基づく副会長の選定について
	令和5年 3月22日 (出席理事14人 ・出席監事2人)	(21) 法人後見事業を実施することについて (22) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会定款の一部変更について (23) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程 (24) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会新座市東部第一地域包括支援センター運営規程の一部を改正する規程 (25) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会指定介護予防支援事業所運営規程の一部を改正する規程 (26) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会新座市東部第一地域包括支援センター就業規則の一部を改正する規則

会 議 名	月 日	主 要 付 議 (議 決) 事 項
		(27) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会指定介護予防支援事業所就業規則の一部を改正する規則 (28) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程 (29) 令和5年度役員等賠償責任保険の契約について (30) 第4次新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画の承認について (31) 令和5年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会事業計画について (32) 令和5年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会社会福祉事業区分予算について (33) 令和5年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会公益事業区分予算について (34) 令和4年度第3回新座市社会福祉協議会評議員会の開催について
監事会	令和4年 5月23日 (出席監事2人)	令和3年度社会福祉事業区分会計及び公益事業区分会計の事業報告、決算監査
	令和4年 12月14日 (出席監事2人)	令和4年度社会福祉事業区分会計及び公益事業区分会計の事業報告、中間監査
評議員会	令和4年 6月28日 (出席役員4人 ・出席評議員 36人 ・出席監事2人)	(1) 専決処分の承認を求めることについて [令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第7号)] (2) 専決処分の承認を求めることについて [令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会公益事業区分補正予算(第1号)] (3) 令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会事業報告の認定について (4) 令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会社会福祉事業区分決算の認定について (5) 令和3年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会公

会議名	月 日	主 要 付 議 (議 決) 事 項
	令和5年 1月31日 (出席役員4人 ・出席評議員 33人)	益事業区分決算の認定について (6) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議 会社会福祉事業区分補正予算(第1号)] (7) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議 会社会福祉事業区分補正予算(第2号)] (8) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議 会公益事業区分補正予算(第1号)] (9) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議 会公益事業区分補正予算(第2号)] (10) 専決処分の承認を求めることについて [令和4年度社会福祉法人新座市社会福祉協議 会公益事業区分補正予算(第3号)] (11) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会理事の選任に ついて
	令和5年 3月29日 (出席役員5人 ・出席評議員 33人)	(12) 法人後見事業を実施することについて (13) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会定款の一部変 更について (14) 社会福祉法人新座市社会福祉協議会役員等の報酬 及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規 程 (15) 令和5年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会事 業計画について (16) 令和5年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会社 会福祉事業区分予算について (17) 令和5年度社会福祉法人新座市社会福祉協議会公 益事業区分予算について
三役会議 (会長・副会 長・常務理事)	令和5年 3月14日 (出席者5人)	令和4年度 第5回理事会提出議案について

会議名	月 日	主要付議（議決）事項
助成金等 審査委員会	令和4年 7月22日 (出席者9人)	令和4年度地域福祉活動助成金の交付について
	令和4年 12月23日 (出席者7人)	令和4年度地域ふれあい交流事業助成金の交付について
評議員 選任・解任 委員会	令和4年 6月13日 (出席者5人)	委員長の選任について 新座市社会福祉協議会評議員候補者の選任について
	令和5年 2月15日 (出席者5人)	新座市社会福祉協議会評議員候補者の選任について

2 事業実施状況

① 社協会員の増強

社会福祉協議会は、市民の皆様の参加による福祉団体で、市民の皆様が積極的に会員となり、会費を納めていただくことにより自主財源が確保され、会員の皆様の活動資金となるものです。

■ 会員会費の区分

普通会員 年会費 500円以上	特別会員 年会費 5,000円以上
協力会員 年会費 1,000円以上	法人会員 年会費 10,000円以上
(普通会員は500円～999円まで、協力会員は1,000円～4,999円までとして扱い、500円未満は寄付金としての取扱いとなります。)	

■ 令和4年度会員及び会費の状況（令和5年1月1日現在世帯数78,153世帯）

会 費						
普通会員	協力会員	特別会員	法人会員	その他 寄付金	合計	加入率
19,549 世帯・人	563 世帯・人	52 世帯・人・ 団体	49 社		20,213 世帯・人・ 団体・社	25.86%
9,811,100 円	593,500 円	301,000 円	500,000 円	2,374,456 円	13,580,056 円	

■ 会員数の推移

年 度	普通会員	協力会員	特別会員	法人会員	会員計	加入率
平成30年度	26,313 世帯・人	707 世帯・人	63 世帯・人・団体	49 社	27,134	36.47%
令和元年度	24,851 世帯・人	657 世帯・人	66 世帯・人・団体	56 社	25,630	33.94%
令和2年度	20,746 世帯・人	608 世帯・人	64 世帯・人・団体	43 社	21,461	28.00%
令和3年度	20,803 世帯・人	588 世帯・人	57 世帯・人・団体	35 社	21,483	27.78%

■ 会員会費の推移

(単位：円)

年 度	普通会員	協力会員	特別会員	法人会員	その他	会費計
平成30年度	13,220,800	730,100	315,000	520,000	1,290,839	16,076,739
令和元年度	12,409,300	697,300	325,000	640,000	1,349,688	15,421,288
令和2年度	10,943,800	651,300	322,000	480,000	1,594,841	13,991,941
令和3年度	10,248,700	619,200	272,000	390,000	2,455,318	13,985,218

② 社協支部設置の推進

新座市社協では、小地域福祉活動を実践するために町内会単位で社協支部設置を推進しています。

■ 支部設置状況

年 度	町内会数	社協支部設置数	社協支部未設置町内会数
平成30年度	61町内会	52支部	9町内会
令和元年度	61町内会	52支部	9町内会
令和2年度	61町内会	52支部	9町内会
令和3年度	61町内会	52支部	9町内会
令和4年度	61町内会	52支部	9町内会

■ 支部一覧（順不同）

No.	支 部 名	支部設立年月日
1	畑中支部	昭和62年10月25日
2	マーテルヒルズ支部	平成 2年 4月 1日
3	馬場一丁目支部	平成10年 4月26日

No.	支 部 名	支部設立年月日
4	馬場二丁目支部	平成 7年 7月10日
5	馬場三丁目支部	平成10年 7月20日
6	馬場四丁目支部	平成25年 4月 7日
7	新栄支部	平成21年 4月 5日
8	栄三丁目支部	平成19年 5月 5日
9	栄四丁目支部	昭和62年 5月17日
10	栄五丁目支部	平成 7年 8月 6日
11	池田支部	昭和52年 6月26日
12	片山支部	昭和54年 6月10日
13	栗原一丁目支部	昭和53年 6月25日
14	栗原二丁目支部	平成19年 4月 1日
15	栗原三丁目支部	昭和53年 9月16日
16	栗原四丁目支部	昭和53年 9月10日
17	栗原五丁目支部	昭和52年 6月11日
18	栗原六丁目支部	昭和57年 6月13日
19	野寺支部	昭和52年 9月15日
20	堀ノ内支部	昭和54年 7月17日
21	石神支部	昭和61年 9月28日
22	北原支部	平成 7年 7月10日
23	新堀一丁目支部	平成 6年 5月22日
24	新堀二丁目支部	昭和53年 4月 1日
25	新堀三丁目支部	平成11年 8月 8日
26	西堀支部	昭和57年11月14日
27	本多支部	昭和57年11月28日
28	菅沢支部	昭和52年 8月15日
29	あたご三丁目支部	昭和62年 5月24日
30	中原支部	昭和57年 7月 3日
31	西分支部	昭和62年 7月31日
32	野火止一丁目支部	平成 元年 4月 1日
33	野火止上五支部	昭和52年 6月26日
34	野火止上六支部	昭和59年10月 1日
35	野火止上支部	昭和53年 2月11日
36	野火止中支部	昭和62年 7月25日

No.	支 部 名	支部設立年月日
37	野火止下支部	昭和52年 7月17日
38	武蔵野北スカイハイツ支部	平成19年 5月19日
39	中野支部	昭和54年11月 1日
40	大和田一・二丁目支部	昭和56年 2月28日
41	大和田三・四丁目支部	昭和53年 9月17日
42	大和田五丁目支部	昭和53年 2月11日
43	新座一丁目支部	平成 4年10月 1日
44	新座二丁目支部	平成 8年 5月25日
45	新座団地支部	平成12年 5月14日
46	新座住宅支部	平成11年10月31日
47	新座リバーサイド支部	平成14年 4月 1日
48	北野一・二丁目支部	昭和52年 7月 9日
49	北野三丁目支部	昭和57年 8月 9日
50	東一丁目支部	昭和57年 7月10日
51	東二丁目支部	昭和55年 3月16日
52	東三丁目支部	平成 4年 4月 1日

③ 支部コミュニティ教室の開催

新座市社協支部の活動の充実を図るために支部単位で実施している事業で、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、次の1支部（1回）で実施され、26人の参加がありました。

■ 支部コミュニティ教室開催状況

支 部 名	開 催 日	参加人数	主 な 内 容
新座住宅	7月10日	26人	講師を迎え、高齢社会と団地のこれからの地域福祉についての話及び懇談会

■ 開催状況

年度	支部数	開催回数	参加人数
平成30年度	4支部	4回	212人
令和元年度	4支部	4回	189人
令和2年度	0支部	0回	0人
令和3年度	0支部	0回	0人
令和4年度	1支部	1回	26人

④ 会食ふれあい事業の実施

地域に居住する高齢者等が、地域社会との交流を広め健康の増進を図るため、各地域の集会所等を会場に新座市社協支部が実施しています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、集会所等での新たな利用ルール等が設けられ、会食ふれあい事業の実施が難しい状況がありましたので、会食ふれあい事業の開催はありませんでした。

また、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の状況が見通せず、会食ふれあい事業の実施が難しい状況であったため、事業の対象者を地域で見守ることを目的に新座市社協支部のボランティアがお弁当等を訪問して配布したり、集会所等で配布したりする特例の取組を、30支部で102回実施しました。

■ 会食ふれあい事業活動状況（年度別）

年度	実施支部数	実施回数	対象者数（延べ）	奉仕者数（延べ）	合計参加者数（延べ）
平成30年度	43支部	249回	8,093人	2,912人	11,005人
令和元年度	42支部	222回	7,256人	2,654人	9,910人
令和2年度	1支部	5回	166人	82人	248人
令和3年度	1支部	1回	42人	20人	62人
令和4年度	0支部	0回	0人	0人	0人

■ 会食ふれあい事業（特例の取組）活動状況（年度別）

年度	実施支部数	実施回数	対象者数（延べ）	奉仕者数（延べ）	合計参加者数（延べ）
令和2年度	19支部	33回	2,863人	415人	3,278人
令和3年度	25支部	72回	5,090人	974人	6,064人
令和4年度	30支部	102回	7,013人	1,345人	8,358人

■ 令和4年度会食ふれあい事業（特例の取組）実績（上半期・下半期別）

No.	支部名	上半期			下半期			年度合計		
		回数	対象者数	奉仕者数	回数	対象者数	奉仕者数	回数	対象者数	奉仕者数
1	新栄	1回	61人	14人	1回	70人	10人	2回	131人	24人
2	栄三丁目	1回	170人	8人	1回	45人	8人	2回	215人	16人
3	栄五丁目	1回	77人	12人	2回	250人	20人	3回	327人	32人
4	池田	2回	144人	21人	2回	131人	21人	4回	275人	42人
5	片山	2回	114人	30人	2回	107人	29人	4回	221人	59人
6	栗原一丁目				1回	26人	6人	1回	26人	6人
7	栗原三丁目				1回	25人	3人	1回	25人	3人
8	栗原四丁目				1回	11人	7人	1回	11人	7人
9	栗原五丁目	1回	63人	18人	3回	172人	46人	4回	235人	64人

No.	支 部 名	上半期			下半期			年度合計		
		回数	対象者数	奉仕者数	回数	対象者数	奉仕者数	回数	対象者数	奉仕者数
10	野寺	3回	457人	14人	1回	136人	6人	4回	593人	20人
11	石神	1回	83人	21人				1回	83人	21人
12	新堀一丁目	3回	131人	41人	2回	85人	26人	5回	216人	67人
13	新堀二丁目				1回	195人	19人	1回	195人	19人
14	西堀	1回	38人	14人	2回	77人	26人	3回	115人	40人
15	本多	1回	18人	3人	1回	60人	6人	2回	78人	9人
16	あたご三丁目	1回	36人	12人				1回	36人	12人
17	西分				1回	130人	50人	1回	130人	50人
18	野火止一丁目	1回	14人	9人	2回	42人	17人	3回	56人	26人
19	武蔵野北スカイハイツ	2回	26人	24人	2回	25人	21人	4回	51人	45人
20	大和田三・四丁目				1回	59人	9人	1回	59人	9人
21	大和田五丁目				6回	403人	51人	6回	403人	51人
22	新座一丁目	5回	247人	54人	6回	296人	75人	11回	543人	129人
23	新座二丁目	2回	101人	63人	2回	48人	39人	4回	149人	102人
24	新座団地	3回	246人	49人	4回	355人	63人	7回	601人	112人
25	新座住宅	5回	527人	86人	6回	726人	102人	11回	1,253人	188人
26	新座リバーサイド	1回	153人	19人				1回	153人	19人
27	北野一・二丁目	3回	223人	37人	6回	132人	53人	9回	355人	90人
28	東一丁目	1回	241人	23人				1回	241人	23人
29	東二丁目				1回	74人	10人	1回	74人	10人
30	東三丁目	2回	107人	34人	1回	56人	16人	3回	163人	50人
合 計		43回	3,277人	606人	59回	3,736人	739人	102回	7,013人	1,345人
			3,883人			4,475人			8,358人	

■ 会食ふれあい事業「調理ボランティアさんの調理教室」

毎年秋に十文字学園女子大学、中央公民館にて開催していましたが「調理ボランティアさんの調理教室」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和4年度の開催はありませんでした。

⑤ 子ども食堂事業の実施

主に小・中学生を対象に、子どもがひとりでの食事となってしまう状況や十分に食事をするのでできない状況を防ぐことを目的に、安心して来ることができて、地域の様々な人たちと触れ合いながら、おいしくごはんを食べることのできる場所となるよう、地域の集会所等を会場に社協支部が実施しています。令和4年度は、新型コロ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、子ども食堂事業の開催はありませんでした。

また、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の状況が見通せず、子ども食堂事業の実施が難しい状況であったため、事業の対象者を地域で見守ることを目的に新座市社協支部のボランティアがお弁当等を集会所等で配布したりする特例の取組を、10支部で16回実施しました。

■ 子ども食堂事業活動状況（年度別）

年度	実施支部数	実施回数	対象者数（延べ）	奉仕者数（延べ）	合計参加者数（延べ）
平成30年度	9 支部	25 回	1,596 人	305 人	1,901 人
令和元年度	10 支部	23 回	1,532 人	277 人	1,809 人
令和2年度	0 支部	0 回	0 人	0 人	0 人
令和3年度	0 支部	0 回	0 人	0 人	0 人
令和4年度	0 支部	0 回	0 人	0 人	0 人

■ 子ども食堂（特例の取組）活動状況（年度別）

年度	実施支部数	実施回数	対象者数（延べ）	奉仕者数（延べ）	合計参加者数（延べ）
令和2年度	3 支部	3 回	240 人	40 人	280 人
令和3年度	6 支部	8 回	651 人	85 人	736 人
令和4年度	10 支部	16 回	1,365 人	166 人	1,531 人

■ 令和4年度子ども食堂事業（特例の取組）実績（上半期・下半期別）

No.	支 部 名	上半期			下半期			年度合計		
		回数	対象者数	奉仕者数	回数	対象者数	奉仕者数	回数	対象者数	奉仕者数
1	栄三丁目				1 回	47 人	7 人	1 回	47 人	7 人
2	栄五丁目				1 回	104 人	11 人	1 回	104 人	11 人
3	野寺				2 回	165 人	13 人	2 回	165 人	13 人
4	西分				1 回	120 人	20 人	1 回	120 人	20 人
5	あたご三丁目				1 回	52 人	19 人	1 回	52 人	19 人
6	野火止一丁目				2 回	86 人	13 人	2 回	86 人	13 人
7	大和田一・二丁目				2 回	80 人	19 人	2 回	80 人	19 人
8	大和田五丁目				1 回	104 人	10 人	1 回	104 人	10 人
9	新座一丁目				3 回	341 人	19 人	3 回	341 人	19 人
10	新座住宅	1 回	136 人	17 人	1 回	130 人	18 人	2 回	266 人	35 人
合 計		1 回	136 人	17 人	15 回	1,229 人	149 人	16 回	1,365 人	166 人
			153 人			1,378 人			1,531 人	

⑥ 愛のいずみ福祉基金について

市民の善意の寄付金等を「愛のいずみ福祉基金」へ積み立てました。令和4年度末の状況は次のとおりです。

令和3年度末基金額	131,308,003円
令和4年度寄付金等繰入額	606,827円
令和4年度末基金額 (うち名義人基金)	131,914,830円 (80,833,679円)

⑦ 新座市福祉フェスティバルの実施

「心のかよう福祉社会をめざして広げようふれあいの輪を」をテーマとして、障がい者も高齢者も、大人も子どもも、男性も女性も共に楽しみ触れ合う交流の場（ノーマライゼーションの実現に寄与）とするとともに、市民の方々の福祉問題に対する関心を高めることを目的に実施しています。このフェスティバルは、参加する福祉関係団体等から選出された委員が中心となって実行委員会を組織し、運営に当たっています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

■ 年度別参加者数等

項目／年度	平成29年度 (第24回)	平成30年度 (第25回)	令和元年度 (第26回)	令和2年度 (第27回)	令和3年度 (第28回)
開催日	6月4日(日)	6月3日(日)	6月2日(日)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、幹事会で中止と決定しました。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、幹事会で中止と決定しました。
参加団体数	82団体	84団体	83団体		
総参加者数	約8,000人	約9,000人	約9,200人		

⑧ 善意銀行預託・払出事業

市民の皆様からの好意による物品やその他の善意をお預かりし、それらを必要としている方々や施設等へ払出しをしました。

■ 善意銀行預託・払出事業（物品）

件数	預託	件数	払出し
87件	使用済切手、未使用切手、未使用ハガキ、紙オムツ、未使用タオル、車いす、入浴バッグ、布袋、巾着袋、エコバッグ、タオルケット、おしりふき、口腔スポンジ、マスク、入れ歯安定剤、エマージェンシーシート、箱ティッシュ、紙シート、枕カバー、お米、トイレットペーパー、フィールドガードジュニア、スコップ、布、傘、和紙、毛糸、えんぴつ等	11件	ぞうきん、タオルケット、紙オムツ、ケアシューズ、紙シート、トイレットペーパー等

⑨ 介護職員初任者研修の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催を中止しました。

⑩ 新座市地域支え合いボランティア事業の実施

新座市地域支え合いボランティア事業は、埼玉県地域支え合いの仕組み推進事業補助金・新座市補助金を受け、新座市商工会と連携を図りながら、平成25年7月から開始しました。

この事業は、市民同士の支え合いに賛同する方が、支援を必要とする高齢者や障がい者の日常生活上のちょっとした困りごとを元気な高齢者等のボランティア（協力会員）にお手伝いいただき、地域の中で支え合いの活動を行うもので、利用会員には1時間400円の利用料の負担をいただき、活動を行った協力会員には、市の補助金200円を加えて、600円分のアトム通貨券をお渡しし、市内の加盟店で使用していただき、地域の商業振興にもつなげる事業です。日常生活のちょっとした困りごとをお手伝いするという基本的な考えの下、一定のルールを設けて実施しており、主なサービスとしては、窓拭き、草取り、散歩の同行、換気扇掃除、電球交換、診察券出しなどがあります。

■ 協力会員登録者数（令和5年3月31日現在） （単位：人）

	計	30代以下	40代	50代	60代	70代	80代以上
男	54人	3人	4人	5人	7人	20人	15人
女	75人	7人	9人	12人	16人	24人	7人
合計	129人	10人	13人	17人	23人	44人	22人
平成30年度	110人	7人	13人	12人	24人	41人	13人
令和元年度	123人	9人	11人	17人	22人	52人	12人
令和2年度	126人	8人	9人	18人	26人	48人	17人
令和3年度	119人	8人	10人	18人	21人	45人	17人

■ 利用会員登録者数（令和5年3月31日現在） （単位：人）

	計	40代	50代	60代	70代	80歳以上
男	55人	0人	0人	1人	17人	37人
女	215人	2人	1人	4人	42人	166人
合計	270人	2人	1人	5人	59人	203人
平成30年度	200人	1人	1人	3人	51人	144人
令和元年度	206人	1人	2人	2人	48人	153人
令和2年度	218人	2人	2人	1人	47人	166人
令和3年度	245人	2人	2人	3人	53人	185人

■ 令和4年度 活動（利用）実績（時間数は利用券受渡枚数から換算）

年度	買物代行	外出支援	屋内作業	屋外作業	ごみ出し	その他	合計
令和4年度	0件	11件	106.5件	94.5件	0件	1件	213件
	0時間	11時間	154時間	134時間	0時間	1時間	300時間
令和3年度	0件	12件	45.5件	71.5件	0件	2件	131件
	0時間	14時間	73時間	106時間	0時間	2時間	195時間
令和2年度	0件	0件	6件	43.5件	0件	3.5件	53件
	0時間	0時間	11時間	74時間	0時間	5時間	90時間
令和元年度	0件	22.5件	27.5件	71.5件	0件	11.5件	133件
	0時間	39時間	51時間	136時間	0時間	21時間	247時間
平成30年度	0件	35件	31件	76件	0件	10件	152件
	0時間	56時間	59時間	151時間	0時間	14時間	280時間

■ 令和4年度新座市地域支え合いボランティア事業協力会員交流会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催を中止しました。

⑪ 彩の国あんしんセーフティネット事業の実施

彩の国あんしんセーフティネット事業は、埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会が主体となり、制度の狭間の問題や生活困窮等の新たな福祉課題に対して柔軟に対応し、地域のセーフティネットの役割を担う相談支援事業です。社会福祉施設が地域の生計困難者からの身近な相談機関となり、新座市社協は、協働して経済的援助を含めた即応性のある対応を図るとともに継続的な支援を行っていきます。

生計困難者に対する経済的援助や社会貢献支援員の配置のための財源は、県内の同協議会に加盟する社会福祉法人が毎年一定額を社会貢献活動会費として拠出したものです。

	相談支援件数
平成30年度	10件
令和元年度	8件
令和2年度	1件
令和3年度	2件
令和4年度	3件

⑫ 社協だより にいざの発行

新座市社協が取り組む事業などの情報提供を目的として、年間3回情報紙を発行しました。なお、年3回（5月、10月、3月）とも広報にいざと同送らせていただき市内全戸配布しました。

■ 社協だより にいざ

- (1) 発行月 令和4年5月・10月・令和5年3月
- (2) 発行部数 5月 78,500部
 10月 78,700部
 3月 79,000部
- (3) 配布先 新座市内の世帯及び公共施設

ボランティアセンター事業の実施

ボランティア活動とは、自らが進んで時間や労力、技術などを提供し、明るく住みよい地域づくりに積極的に参加することです。

心の温まる豊かな地域づくりの推進のため、新座市社協では、ボランティアセンターを設置し、次の事業を行いました。

- ① 設置場所… 新座市役所第三庁舎 新座市ボランティアセンター
- ② 事業内容… ボランティアの相談・登録・紹介活動、ボランティア広報紙の発行、各種講座の開催、各種活動への協力、その他ボランティア活動に関する事業
- ③ 個人ボランティア数… 11人【令和5年3月31日現在】
- ④ グループ登録ボランティア

19グループ 228人【令和5年3月31日現在】

年度	個人ボランティア数	グループ登録ボランティア	
平成30年度	36人	22グループ	329人
令和元年度	27人	22グループ	311人
令和2年度	25人	21グループ	306人
令和3年度	20人	18グループ	248人

1 個人登録ボランティア活動登録内容

■ 個人登録ボランティア活動登録内容（複数登録あり）

活 動 項 目	人 数
高齢者	5人
子ども	3人
障がい児・者	3人
精神保健	3人
傾聴	2人
その他	2人

※ 登録者年齢層

（単位：人）

区分	年 齢	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和4年度	男	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	2	3	4	0	1	4	11
	女	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	1	2	1	4	1	1	7	
令和3年度				0	0	0	0	1	1	2	2	5	5	8	8	2	2	20	

2 グループ登録ボランティア活動内容

■ グループ登録ボランティア活動内容

(単位：人)

グループ名	会員数	活動内容
音訳グループ 花だいこん	10	市内視覚障がい者のための「広報にいざ」と「社協だより」、「ボランティアセンターだより」の音声化、勉強会及び月1回の録音やダビング、発送活動
点訳グループ てんとう虫	30	文学書、各種行事のプログラム、参考書などの点訳、点字講座アシスタント、福祉教育点字体験指導
新座手話サークル	33	聴覚障がい者問題の理解を深めるための活動、手話学習・手話講座アシスタント、「新座市聴覚障害者の会」への協力、福祉教育手話体験学習アシスタント
話劇みのり	6	朗読の基礎学習（発声、発音等）、文学作品、民話、詩等のミニ発表会、学校・公民館・福祉施設等でのボランティア公演
精神保健ボランティア グループ ゆう	6	精神障がい者へのサポート活動、にいざ生活支援センター・福祉工房さわらびの行事への協力、食事作り、茶道教室
要約筆記サークル 飛鳥	15	中途失聴者を始め、音の聴こえの不自由な方への情報保障（OHP、OHC、ノートテイク等）、福祉教育要約筆記体験指導
イーブン（IVN）	10	「気軽に楽しく国際交流」外国籍市民とのフランクで対等な関係・交流を願って楽しみながら交流する。イベントの企画・実施、日本語学習のサポート等
おばあちゃんの パソコン教室 「この指とまれ」	17	いきいき広場・中高年女性のためのパソコン学習指導、十文字学園女子大学との共催講座の実施
雑木の会	12	市内の雑木林の手入れや保全を中心としたふれあい交流活動
パソボラいるか	7	市民の初心者を対象にパソコンの基本操作を、公民館を会場として指導

グループ名	会員数	活動内容
カフェこもれび	12	カフェ活動を通じて精神障がいのある人と地域住民が知り合い、親しく話ができる場づくり。メンバーと協働し、茶菓子の提供と交流する「Caféこもれび」活動
地域介護ネット “えがお”	9	介護や介護予防について学びながらの地域の交流活動、高齢者が集まる地域のサロンを開催
ひびきの会	7	高齢者いきいき広場における定期的な歌の合唱や朗読会の開催
ひとみ会	8	養護盲老人ホームひとみ園の事業援助のための使用済郵便切手、書き損じハガキ等の整理
朗読の会ひびき	12	新座の民話などを大型紙芝居にして学校・施設・町内会などで紹介
傾聴グループ ちょうちょ	12	市内の福祉施設、個人宅等で傾聴活動
えほんサークル “輪”	5	市内の図書館、小学校、介護施設等で紙芝居、絵本の読み聞かせ活動
ゆびぶえ倶楽部	12	市内の福祉施設等で指笛の演奏を行っているほか、イベントへの参加
野火止緑道環境保全 ボランティア あかねこくらぶ	5	野火止緑道の自然環境保全を目指してプラスチックゴミ等の除去作業
合 計	228	

3 相談援助活動

ボランティアセンターを通じて相談のあったニーズに対して、個人やグループに依頼し活動の調整を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、施設等でのボランティア活動が難しい状況が続いたため、自宅でできるボランティア活動を実施し、多くの方に参加いただきました。

■ ボランティアセンターでの対応（相談・調整・問合せ・その他）件数

受付数

(単位：件)

区分		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
相談方法	来所 ①	26	65	46	27	38	30	15	17	15	22	17	58	376
	電話 ②	12	12	17	30	14	24	23	15	14	45	70	19	295
	FAX・ メール③	0	0	5	7	1	0	0	0	0	17	1	1	32
相談数④ (①+②+③)		38	77	68	64	53	54	38	32	29	84	88	78	703
貸出サービス 事務処理⑤		120	88	89	79	72	66	101	96	61	77	65	86	1,000
受付数 ④+⑤		158	165	157	143	125	120	139	128	90	161	153	164	1,703
平成30年度		144	153	88	159	139	139	157	152	103	102	110	188	1,634
令和元年度		167	181	191	164	129	142	169	175	136	114	137	91	1,796
令和2年度		66	40	82	69	62	88	203	122	73	76	78	236	1,195
令和3年度		113	110	110	127	120	102	129	130	98	90	73	205	1,407

④の相談内容別集計

(単位：件)

区分		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
活動希望者		4	38	16	35	21	13	10	4	3	47	54	42	287
学習関係		0	0	0	6	1	6	3	0	0	0	0	1	17
受入相談		0	0	10	0	1	0	2	0	0	13	0	0	26

その他	21	12	19	12	12	13	13	17	15	5	10	12	161
活動実践者	13	27	23	11	18	22	10	11	11	19	24	23	212
合 計	38	77	68	64	53	54	38	32	29	84	88	78	703
平成30年度	28	28	28	52	34	43	41	43	21	25	32	46	418
令和元年度	38	69	108	77	35	46	54	47	55	39	63	22	653
令和2年度	19	15	45	30	21	44	132	66	20	34	45	165	636
令和3年度	41	51	48	72	58	52	50	46	30	33	42	128	651

■ ニードカード相談内訳

ボランティアセンターでは、個人、福祉施設、団体などからのボランティア募集や活動希望の相談を受け、ニードカードを作成しています。ボランティアのマッチングや継続した支援に役立てています。(単位：件)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボランティア募集	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
ボランティアしたい	0	0	0	0	1	5	2	0	0	2	1	2	13
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	0	0	2	0	1	5	3	0	0	2	2	2	17
平成30年度	12	7	10	4	7	17	7	11	0	7	4	3	89
令和元年度	2	6	6	3	1	1	1	0	3	2	1	0	26
令和2年度	0	1	2	3	0	1	1	1	1	1	1	3	15
令和3年度	3	1	4	0	1	1	5	5	1	2	1	3	27

区分	個人	施設	市役所	居宅介護 支援事業 所	高齢者 相談セン ター	福祉事 業 所	ボランティア 団体	社協支 部	民生委 員	地域福 祉 推進協	その他	合計
ボランティア募集	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ボランティアしたい	11	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	13
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	14	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	17
平成30年度	34	12	3	6	1	4	6	5	0	0	18	89
令和元年度	16	4	1	4	1	0	0	0	0	0	1	27
令和2年度	9	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	15
令和3年度	21	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	26

4 ボランティアセンターだよりの発行

ボランティアに関する情報提供を目的として、年間5回情報紙を発行しました。

なお、多くの市民へボランティア情報を届けることを目指し、新座市社協発行の「社協だよりにいざ」に組み込み、年3回は市内全戸配布（5月、10月、3月）、更に7月・1月は単独で発行し市内の公共施設等に設置しました。

■ にいざボランティアセンターだより「ノティシア」発行部数

5月 78, 500部、10月 78, 700部、3月 79, 000部

7月・1月 1, 400部

◎『ノティシア』とは、スペイン語で、便り・お知らせ・情報の意味

5 彩の国ボランティア体験プログラムの実施

これまでボランティア活動に興味や関心を持ちながら、なかなか参加することができない方のために、1年を通じた活動の体験事業を実施しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、施設のボランティアの受入れが難しい状況のため、7月・8月の強化月間に寄付物品で施設を応援する、「自宅でできるボランティア活動」や「手話体験」、「点字体験」を追加しました。

■ 彩の国ボランティア体験プログラム

(1) 期 間 令和4年5月～令和5年2月の通年

(2) 参加者数 小学生25人、中学生31人、高校生11人、大学・短大・専門3人、不明25人（延べ95人）

(単位：人)

年度	小学生	中学生	高校生	大学・ 短大・ 専門	社会人	不明	合 計
平成30年 度	0	7	13	10	5	0	35
令和元年度	0	8	18	7	0	0	33
令和2年度	0	0	1	0	0	0	1
令和3年度	6	17	1	2	15	6	47

(3) 活動状況

(単位：所、人)

活動施設	施設数	人数	活 動 内 容
保育園・子育て支援施設	4	19	保育補助等
高齢者施設	0	0	介護補助、話し相手、レク補助等
障がい児・者デイケア施設	1	1	話し相手、作業等補助等
放課後児童保育室	0	0	保育補助等
社会福祉協議会	12	14	寄附物品作成
合 計	17	34	

(4) その他

(単位：人)

体験	小学生	中学生	高校生	大学・ 短大・ 専門	社会人	不明	合計
点字体験	11	7	0	0	0	9	27
手話体験	13	9	1	0	0	10	33

6 リフト付乗用車運行事業の推進

障がい者等の生活圏拡大を進めるため、車椅子を使用している市民に対して日常生活を支援し、地域福祉の向上を図ることを目的として、新座市社協が所有するリフト付乗用車4台の貸出しを行いました。運転者のいない方に対しては、運転ボランティアの調整を行いました。

■ リフト付乗用車利用状況

(単位：件)

月	貸出し (車のみ)	貸出し (運転ボランティア付)	合 計
4月	7	0	7
5月	12	1	13

6月	14	1	15
7月	12	1	13
8月	10	0	10
9月	8	0	8
10月	9	0	9
11月	9	1	10
12月	6	1	7
1月	9	0	9
2月	8	2	10
3月	7	4	11
計	111	11	122
平成30年度	86	70	156
令和元年度	45	78	123
令和2年度	18	16	34
令和3年度	86	13	99

7 福祉機器貸出事業の推進

公的な制度を利用することが困難な方や、地域福祉の推進を目的とする団体及び個人への支援を目的とし、社協所有の福祉機器等を利用したいという市内在住の方に対して、一時的に貸出しを行いました。また、登録ボランティアグループ等が作業や打合せなどで使用できるよう、ボランティアミーティングルーム等の貸出しを行いました。

■ 福祉機器の貸出状況

(単位：件)

車椅子（福祉教育を除く）	253	書籍（紙芝居を含む）	0
アイマスク	10	防災関連書籍	0
白杖	10	マイクセット	4
高齢者疑似体験セット	6	ラジカセ	0
点字練習器	2	プロジェクター等	3
福祉学習DVD	0	スクリーン	1
プレクストーク	1	印刷機・コピー機	100
フラッシュライト	0	拡声器	0
机	1	テント（大・小）	0
椅子	4	電源ドラム	4
検温器	0	その他（ポップコーン機、スリッパ、ポール）	6
		合計	405

(令和3年度の貸出件数 296件)

■ ボランティアミーティングルーム・会議室等利用状況 (単位：回、団体)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	7	13	3	10	7	7	7	8	4	4	4	12	86
団体数	4	6	2	5	4	6	5	4	4	4	4	6	54

(令和3年度の利用回数 119回・団体数 延べ30団体)

8 ボランティア保険の加入手続

安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動時に発生したけがや事故の補償を目的として、全国社会福祉協議会が一括して団体契約をしているボランティア活動保険及びボランティア行事用保険の加入手続を行いました。

■ ボランティア保険加入手続状況

- (1) ボランティア活動保険加入手続人数 452人 (前年度591人)
- 内 訳 基本タイプ 351人
- 天災タイプ 83人
- 特定感染症重点タイプ 18人
- (2) ボランティア行事用保険加入手続件数 59件 (前年度31件)

9 社会福祉協力校（ボランティア推進校）の指定

福祉の心を育てることを目的に、昭和55年から市内各学校を指定しており、更に福祉の拡大を図るため市内全校指定を目指して協力を依頼し、令和4年度は小学校17校、中学校6校、高等学校1校、大学2校を指定しました。

■ 令和4年度社会福祉協力校指定校

○ 小学校【市社協指定校17校】

大和田小、西堀小、片山小、第四小、八石小、東北小、新座小、野火止小、野寺小、池田小、新堀小、東野小、石神小、栄小、新開小、栗原小、陣屋小

○ 中学校【市社協指定校6校】

新座中、第二中、第三中、第四中、第五中、第六中

○ 高等学校【市社協指定校1校】

新座総合技術高

○ 大学【市社協指定校2校】

十文字学園女子大学、跡見学園女子大学

合計 26校 (令和3年度 27校)

10 福祉教育の推進

市内社会福祉協力校や地域からの依頼に対して、障がい当事者や団体、ボランティアと連携し、当事者の講話と各種体験をセットで学習できるよう実施しています。

■ 令和4年度福祉教育実績

- (1) 依頼に対する協力件数 36件
- (2) 協力者及び協力団体数 個人 延べ22人、団体 11団体
- (3) 体験種別（複数体験を同時実施の場合あり）

体験種別	件数	体験種別	件数
車椅子体験	11件	高齢者疑似体験	0件
アイマスク体験	10件	福祉講話	1件
手話体験	5件	機材貸出し	8件
点字体験	1件		

平成30年度	41件
令和元年度	43件
令和2年度	27件
令和3年度	30件

- (4) 体験指導協力団体

団体名	体験種別
新座手話サークル	手話体験
新座市聴覚障害者協会	手話体験
点訳グループてんとう虫	点字体験

11 朝霞地区四市福祉教育研修会の実施

朝霞地区四市の福祉教育関係団体と福祉教育担当教諭を対象として、福祉教育に関する研修会を四市社協合同で開催しています。令和4年度は志木市が当番市となり、2日間の研修会を会場参加者とオンラインを用いて実施しました。

■ 令和4年度朝霞地区四市福祉教育研修会

- 期 日 令和4年8月4日（木）・5日（金）
- 主 催 志木市社会福祉協議会、新座市社会福祉協議会
朝霞市社会福祉協議会、和光市社会福祉協議会
- 対 象 ①朝霞地区四市にある小・中・高等学校の教職員

②朝霞地区四市の福祉教育に協力いただいている個人、団体

会 場 オンライン、志木市総合福祉センター

内 容 1日目 視覚障がいの方の講演、小学校、中学校教員による福祉教育の事例
発表

2日目 身体障がいの方の講演、大学教授の講演「福祉教育の学びのポイント」

参加者 91人

1.2 新座市ボランティアまつりの実施

ボランティア活動実践者とボランティアに関心のある方との情報交換の場をつくり、ボランティアの輪を広げることを目的とした「ボランティアまつり」を、新座市ボランティアまつり実行委員会の主催により、「新座市収穫祭」・「国際交流デー」、「新座市商工会すぐそこ新座発見ウォーキング」と同日開催しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

1.3 ボランティア団体協議会への支援

平成21年度に、新座市社協の登録ボランティア団体の相互理解を深めるとともに、共通課題への取組や関係機関との連携を通して、協力体制の確立を図り、ボランティア団体の活動の充実と発展に寄与することを目的として「新座市社会福祉協議会ボランティア団体協議会」が設立されました。平成22年度からは、団体の運営支援を行っています。参加団体は、令和5年3月末で12団体となっています。

■ 参加団体 12団体

○要約筆記サークル飛鳥	○Caféこもれば
○音訳グループ 花だいこん	○ひびきの会
○地域介護ネットえがお	○精神保健ボランティア
○新座手話サークル	グループゆう
○おばあちゃんのパソコン教室	○えほんサークル 輪-りん-
「この指とまれ」	○傾聴グループちょうちょ
○パソボラいるか	○ゆびぶえ倶楽部

■ 令和4年度新座市社会福祉協議会ボランティア団体協議会の1年間の主な活動

月	事業名	主な内容
5月	総会	令和3年度事業報告・決算報告・監査報告 令和4年度事業計画(案)・予算(案)役

		員選任
10月	赤い羽根共同募金	街頭募金協力（ひばりが丘駅・新座駅）
3月	講演会	「認知症について」 講師 和光病院院長 今井 幸充氏
随時	役員会	7回開催
随時	運営委員会	7回開催

14 理髪サービスボランティアの派遣

外出が困難な方を対象に、美容師又は理容師が自宅へ訪問して理髪サービスをすることにより、整容を維持し、健全で快適な暮らしと保健衛生の向上を図るために行っています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から派遣を中止しました。

15 ボランティア講座の実施

■ 令和4年度「傾聴基礎講座」

期 日 令和4年10月29日（土）

会 場 新座市民会館 第1会議室・第2会議室

参加者 39人

講 師 日本カウンセリング心理学研究所 高倉 恵子 氏

■ そのほかの講座については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

16 自宅でできるボランティア活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設でのボランティア活動や地域活動が行えない中、市内福祉施設で必要とされる物品等を市民の皆様が作製し、寄付していただく、自宅でも行えるボランティア活動を実施しました。

■ 期 間 第1回 令和4年7月1日～令和4年8月31日（彩の国ボランティア体験プログラム）

第2回 令和5年3月1日～令和5年3月31日

■ 参加者数 54人、2団体（第1回 13人、1団体、第2回 41人、1団体）

■ 寄付件数 56件（第1回 14件、第2回 42件）

■ 届け先施設数 24施設（第1回 9施設、第2回 15施設）

■ 受領物品

第1回

ベビーカーのカバー4個、お散歩カーのカバー4個、お人形おんぶひも1個、牛乳パックのおもちゃ10個、牛乳パックの椅子4脚、牛乳パックのテーブル1台、お手玉103個、フェルトのマスコット8個、手作りおもちゃ8個、段ボールの装飾3個、台ふきん10枚、ウエス10枚、ぞうきん189枚、ヘアゴム

27個、シュシュ41個、移動ポケット19枚、レッスンバッグ21枚、枕カバー19枚

第2回

レッスン用バッグ61枚、移動ポケット43枚、ヘアゴム39個、シュシュ64個、給食用コップ入れ50枚、体操服入れ38枚、上履き入れ53枚、子ども用エプロン12枚、防災頭巾ケース1個、布絵本2冊、布製おもちゃ88個、枕カバー23枚、座布団カバー11枚、牛乳パックの椅子10個、牛乳パックのテーブル1個、雑巾408枚、台ふきん20枚、バスマット30枚

17 福祉標語コンテスト

小学生に「福祉」について考えてもらうきっかけ作り、標語を通した市民の皆様への福祉活動の啓発を目的として、市内小学校の4年生を対象に福祉標語コンテストを実施しました。

入選作品は、新座市社協発行の「社協だよりにいざ」等に福祉推進のスローガンとして掲載します。

■ 応募総数 10校 795点

■ 入選作品 15点

共同募金配分金事業の実施

1 赤い羽根共同募金運動配分金事業の状況

埼玉県共同募金会から令和4年度赤い羽根共同募金配分金事業費 3,207,000 円の助成を受け、社協自主財源 1,358,090 円を加え、その資金で次の事業を行いました。

① 老人福祉活動

活 動 内 容	金 額
老人福祉事業（老人クラブ連合会への活動援助）	100,000 円
令和4年度上半期分会食ふれあい事業『特例の取組』助成金 （22支部 43回分）	2,070,845 円
令和4年度上半期分子ども食堂事業『特例の取組』助成金 （1支部 1回分）	55,000 円

②障がい児・者福祉活動

活 動 内 容	金 額
障がい者福祉事業（福祉関係団体への活動援助（8団体））	180,000 円

③児童・青少年福祉活動

活 動 内 容	金 額
社会福祉協力校助成金（小学校17校、中学校6校、高校1校、大学2校）	739,000 円

④福祉育成・援助活動

活 動 内 容	金 額
啓発宣伝費（社協だより発行費1回分）	751,245 円

⑤ボランティア活動育成事業

活 動 内 容	金 額
地域福祉事業（民児協、婦人会、町内会連合会、ボランティア団体協議会への活動援助）	449,000 円
ボランティアグループへの活動助成（8グループ）	220,000 円

①～⑤ 合 計	4,565,090 円
---------	-------------

2 地域歳末たすけあい運動配分金事業の状況

埼玉県共同募金会から令和4年度地域歳末たすけあい募金配分金事業費として6,074,000円の助成を受け、社協の自主財源138,826円を加えた6,212,826円で、令和4年10月1日～令和5年3月31日の6か月の期間に、次の事業を実施しました。

■ 社協支部・町内会実施の「地域ふれあい交流事業」

社協支部・町内会名	事業名・内容等	助成金額
馬場四丁目町内会	敬老のお祝い配布活動	30,000円
栄四丁目町会	ソフトバレーボール大会	30,000円
片山支部	ふれあい福祉赤飯配布活動	27,000円
片山町内会	片山もちつき大会	28,000円
栗原二丁目町内会	わくわくクリスマス	18,000円
栗原三丁目町内会	栗原三丁目こどもまつり	42,000円
栗原四丁目町内会	地域ふれあい‘クリスマス会’	45,000円
	地域ふれあい『団子で笑顔』	15,000円
栗原五丁目町会	地域ふれあいもちつき大会	120,000円
野寺町会	野寺ファミリーフェスティバル	210,000円
	野寺町会日帰りバス旅行	31,000円
新堀三丁目町内会	ふれあい清掃活動	12,000円
西堀町内会	地域ふれあいもちつき大会	78,000円
野火止住宅自治会	川柳大会	32,000円
西分町内会	西分相続講座	44,000円
野火止一丁目町内会	福祉慰安の集い	42,000円
野火止上六支部	新春お楽しみ会	30,000円
野火止上町内会	敬老の日お祝い・歳末たすけあいふれあい合同イベント	150,000円
武蔵野北劔ｲﾝﾅ自治会	年末みかん抽選大会	29,000円
大和田五丁目町会	町会バスハイク	81,000円
新座二丁目支部	地域ふれあいもちつき大会	37,000円
新座住宅町内会	町内会バス旅行	123,000円
東北一丁目町内会	地域ふれあい交流会	36,000円
東北二丁目町内会	東北二丁目町内会親睦ボウリング大会	60,000円
	地域ふれあい交流会	6,000円
北野一・二丁目町内会	ふれあい親睦日帰りバス旅行	42,000円
北野三丁目町内会	ふれあい親睦日帰りバス旅行	60,000円

東二丁目町内会	ふれあい親睦日帰りバス旅行	32,000 円
東三丁目町内会	春まつり餅つきとん汁大会	30,000 円
実施 26 支部・町内会 = 29 事業	小 計	1,520,000 円

① 令和4年度地域ふれあい交流事業 合 計	1,520,000 円
-----------------------	-------------

■ 令和4年度下半期分会食ふれあい事業『特例の取組』助成金

② 26 支部 59 回分	2,422,687 円
---------------	-------------

■ 令和4年度下半期分子も食堂事業『特例の取組』助成金

③ 10 支部 15 回分	640,500 円
---------------	-----------

■ 福祉活動啓発事業

④ 社協だより発行費 2 回分	1,509,189 円
-----------------	-------------

■ 災害対策事業

⑤ 備品整備費 (クイックテント)	120,450 円
-------------------	-----------

① ~⑤ 令和4年度歳末たすけあい配分金事業費総合計	6,212,826 円
----------------------------	-------------

3 埼玉県共同募金会から直接の助成を受けた新座市内の団体【参考】

令和4年度は下記の施設が、埼玉県共同募金会から助成を受けました。

助 成 先 ・ 助 成 内 容	金 額
社会福祉法人 陣屋クリニック	31,000 円
・ コロナ禍の医療従事者へサプリメント配付事業	

日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）の実施

平成11年11月から「地域福祉権利擁護事業」の福祉サービスが開始され、平成12年6月に社会福祉法に基づく「地域福祉権利擁護事業」として位置づけられました。さらに、平成19年4月に「日常生活自立支援事業」に名称が改められ現在に至っています。

この事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の方などに対し、福祉サービスの利用手続の援助や日常的金銭管理を行うことにより、地域で自立した生活を送れるよう支援することを目的としています。

令和4年度末の利用者は14人（認知症等高齢者3人、知的障がい者6人、精神障がい者5人）で、専門員4人、生活支援員7人でサービスを提供しています。

■ 日常生活自立支援事業

令和4年度	相談件数 ※1	問合せ 件数	契 約 件 数			
			新 規	前年度 から継続	解 約 ※2	年度末 契約数
	254件	50件	0件	19件	5件	14件

※1 相談件数の内訳

- ①問合せ件数（具体的な相談ではなく、制度・事業についての概要等）50件
- ②初回相談件数（具体的な相談、今後相談や訪問の可能性のあるもの）14件
- ③相談件数 a（サービス契約前の相談）7件
- ④相談件数 b（サービス契約後の相談）183件

※2 解約の理由については、成年後見制度への移行4件、自立1件となっています。

■ 年度別状況

（単位：件）

	相談件数	問合せ 件数	契 約 件 数			
			新 規	前年度 から継続	解 約	年度末 契約数
平成30年度	1,672	0	6	26	6	26
令和元年度	1,737	9	3	26	4	25
令和2年度	507	1	5	25	9	21
令和3年度	404	27	1	21	3	19

■ サービス利用の年度別状況（年度末利用者）

（単位：件）

対象	日常生活上の手続援助	日常的金銭管理	書類等預かりサービス
平成30年度	26	19	4
令和元年度	25	18	6
令和2年度	21	14	4
令和3年度	19	14	4
令和4年度	14	12	4

■ 生活支援員活動実施回数の状況

（単位：回）

対象	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
平成30年度	170	153	144	0	467
令和元年度	161	140	120	0	421
令和2年度	100	116	82	0	298
令和3年度	82	91	99	0	272
令和4年度	48	73	75	0	196

■ 生活支援員定例会

期 日 令和4年6月22日（水）午後1時30分から午後3時まで

会 場 新座市社会福祉協議会 大会議室

参加者 11人（生活支援員6人、社協5人）

内 容 生活支援員の交流を図りつつ、利用状況の確認、あんサポ支援で直面する問題や課題に対して意見交換や情報交換、県社協作成のDVDを視聴し生活支援員の業務についての再確認を行った。

【福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）のサービス内容】

基本サービス「福祉サービス利用援助」に加えて、選択サービス（3項目）「日常生活上の手続援助」、「日常的金銭管理」、「書類等預かりサービス」から必要なサービスを選択し利用します。

（基本）①福祉サービス利用援助（定期的な訪問や情報提供・相談等）

（選択）②日常生活上の手続援助（日常生活に必要な事務手続の援助）

③日常的金銭管理（日常生活に必要な金銭に関する援助）

- ④書類等預かりサービス（年金証書、預貯金通帳、不動産の権利証等、
1,000万円を限度として預ります。）

※契約後の生活支援員による援助は有料となりますが、生活保護世帯については無料となります。

※新座市では利用料の補助制度があります（毎月の利用料の9割が助成されます。）。
（担当課／新座市長寿はつらつ課及び障がい者福祉課）

【具体的な対象者】

次のいずれにも該当する者

① 判断能力が不十分な者

認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方などが、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な者（障害者手帳の有無に関わりません。）

② 本事業の契約について判断し得る能力を有している者

契約締結能力判定ガイドラインを使用し、本人の判断能力を確認します。判定の状況により、埼玉県社協契約締結審査会において審議を行います。

③ 埼玉県新座市に住所を有する者

居宅で生活している者に限らず、施設を利用している者も対象となります。

生活福祉資金貸付事業の実施

生活福祉資金貸付制度は、国と県の補助金等を財源として埼玉県社会福祉協議会が実施している事業で、低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などの経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として、県内の各市町村社協が窓口となり申請を受け付けます。

令和元年度から、新型コロナウイルス感染症の影響による、休業や失業で生活資金が必要となった世帯に対して、緊急小口資金と総合支援資金の特例貸付が実施されました。

■ 総合支援資金

失業などにより日常生活の維持が困難になった世帯に対して、継続的な相談支援とともに生活費や一時的に必要な資金を貸し付ける制度です。

	相談件数	申請件数	決定件数	貸付金額
平成30年度	7件	0件	0件	0円
令和元年度	7件	0件	0件	0円
令和2年度	1件	0件	0件	0円
令和3年度	7件	0件	0件	0円
令和4年度	6件	0件	0件	0円

■ 福祉資金（緊急小口資金）

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に少額の費用を貸し付ける制度です。

	相談件数	申請件数	決定件数	貸付金額（円）
平成30年度	37件	3件	3件	300,000円
令和元年度	85件	4件	4件	400,000円
令和2年度	25件	6件	5件	500,000円
令和3年度	33件	3件	3件	295,000円
令和4年度	65件	2件	2件	200,000円

※ 特例貸付

	資金種別	決定件数	貸付金額 (円)
令和元年度	緊急小口資金	5件	1,000,000円
令和2年度	総合支援資金	840件	632,720,000円
	緊急小口資金	1,108件	205,740,000円
令和3年度	総合支援資金	1,135件	684,510,000円
	緊急小口資金	451件	87,610,000円
令和4年度	総合支援資金	62件	32,650,000円
	緊急小口資金	82件	15,700,000円

■ 福祉資金（福祉費）

日常生活を送る上で、又は自立生活を営むために一時的に必要であると見込まれる費用を貸し付ける制度です。民生委員や市町村社協の相談支援の下で貸し付けします。

	相談件数	申請件数	決定件数	貸付金額
平成30年度	12件	0件	0件	0円
令和元年度	25件	1件	1件	175,000円
令和2年度	9件	0件	0件	0円
令和3年度	7件	0件	0件	0円
令和4年度	17件	1件	1件	82,000円

■ 教育支援資金

低所得世帯に対し、高等学校、大学又は高等専門学校の就学又は入学に際して、必要な経費を貸し付ける制度です。民生委員や市町村社協の相談支援の下で貸し付けします。

	相談件数	申請件数	決定件数	貸付金額
平成30年度	8件	0件	0件	0円
令和元年度	10件	2件	2件	884,000円
令和2年度	6件	2件	2件	1,674,000円
令和3年度	11件	1件	1件	898,000円
令和4年度	14件	2件	2件	1,345,000円

■ 不動産担保型生活資金（要保護世帯向け不動産担保型生活資金）

現に居住している不動産（土地・建物）を所有している高齢者が、将来にわたりその住居に住み続けることを希望される場合に、その不動産を担保として生活資金を貸し付ける制度です。生活保護世帯向けには、要保護世帯向け不動産担保型生活資金があります。

	相談件数	申請件数	新規決定	貸付継続	貸付金額
平成30年度	12件	2件	2件	4件	7,015,000円
令和元年度	16件	0件	0件	6件	7,575,000円
令和2年度	8件	2件	2件	6件	8,320,000円
令和3年度	6件	0件	0件	8件	9,313,000円
令和4年度	14件	4件	2件	8件	2,940,000円

低所得者生活資金貸付事業の実施

■ 法外援護資金

新座市内に居住し、法的に所得保障のない生活困難又は不慮の事態等となった世帯に対し、その生活の安定と自立更生を図るために資金を貸し付ける制度です。

	貸付件数	貸付金額
平成30年度	60件	1,299,000円
令和元年度	66件	1,642,000円
令和2年度	71件	1,772,500円
令和3年度	59件	1,352,300円
令和4年度	54件	1,529,000円

○法外援護資金貸付内容

- ・ 貸付対象世帯
新座市内に居住し、法的に所得保障のない生計困難又は不慮の事態等となった世帯
- ・ 貸付限度額
5万円
- ・ 償還期限
6か月以内
- ・ 償還方法
一括払い、月賦払い又は繰上げ償還払い
- ・ 貸付金利子
無利子
- ・ 連帯保証人
新座市内に居住し、連帯保証能力を有する者1人の保証が必要

放課後児童保育室事業の運営

保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童のために、家庭的な雰囲気の中で健全育成を図ることを目的とした「放課後児童保育室」17か所の管理運営事業を平成8年度から新座市より受託し27年間行ってきました。

この間、平成18年度から平成30年度までは、指定管理者制度に基づき指定管理者として13年間に3回の指定を受け、放課後児童保育室の管理運営を行いました。

令和元年度からは4回目の指定を受け、市内17か所の放課後児童保育室のうち11か所の管理運営をしました。

令和4年度からは、これまで通常授業日に延長保育時間としていた午後6時から午後7時までの間を通常保育時間として開室しました。

■ 新座市放課後児童保育室概要（新座市社会福祉協議会が管理運営を行っている施設）

設置数等	17か所のうち11か所の管理運営を行っている。
各保育室職員配置数	嘱託職員2～3人＋入室児童数等により臨時職員を1～11人加算配置
対象児童	小学校1年生～4年生 (このほか特例による入室者あり)
保育時間	通常授業日は、放課後～午後7時 学校休業日は、午前8時～午後6時

■ 年度別入室児童数（年間延べ人数）

平成30年度入室児童数	18,780人 (11,617人)
令和元年度入室児童数	11,477人
令和2年度入室児童数	11,846人
令和3年度入室児童数	11,693人
令和4年度入室児童数	11,214人

※ 平成30年度の（ ）内の人数は、11か所の年間延べ人数です。令和元年度から11か所の年間延べ人数となります。

なお、令和元年度までは、学校夏休み中は、期間が長いことから放課後児童保育室入室基準に基づき、既入室児童に加え小学校6年生までの児童を受け入れていました。

■ 令和4年度放課後児童保育室入室児童数内訳（毎月1日を基準日として集計）

（単位：人）

保育室名	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大和田	196	165	160	157	156	155	150	149	145	146	141	138	138	1,800
片山	74	85	87	85	86	84	81	81	80	79	77	77	76	978
第四	96	64	66	61	62	63	62	55	55	55	56	55	55	709
八石	36	57	55	49	49	51	50	49	49	47	47	47	48	598
野寺	92	152	154	156	156	153	149	149	147	146	143	142	140	1,787
池田	96	72	67	67	69	73	67	67	67	66	66	66	65	812
新堀	100	99	97	96	96	97	92	86	83	82	83	81	81	1,073
石神	86	109	105	104	106	104	96	90	89	89	87	87	85	1,151
栄	53	69	66	65	64	63	61	61	57	56	53	52	52	719
栗原	96	84	87	85	83	83	83	82	79	78	76	76	76	972
陣屋	87	61	60	59	54	55	54	48	47	47	44	43	43	615
計	1,012	1,017	1,004	984	981	981	945	917	898	891	873	864	859	11,214

■ 支援員研修会等実施状況

社会福祉協議会主催研修	5/24・9/8・10/12・2/21. 27	新人研修
	5/10～13	新年度を迎えて（ZOOM及び対面）
	6月中	救急救命講習（応急手当WEB講習）
	6/6～10	日々の保育の工夫や悩み（ZOOM及び対面）
	7/8	施設見学（ZOOM）
	9/7～14	おやつについて①（ZOOM及び対面）
	10/6～18	おやつについて②（ZOOM及び対面）
	11/7～11	コロナ後の学童について（対面）
	12/2～13	個人情報保護研修を受けて（対面）
	1/12～17	子どもとの関りについて・保護者との関りについて・支援員同士のコミュニケーションについて・その他（ZOOM及び対面）
	2/10	基本的なルールについて①（ZOOM）
	3/10	基本的なルールについて②（ZOOM）
外部団体主催研修	7/6～27 の間に動画配信視聴	埼玉県「発達障害の基礎理解」
	7/12・14・15	埼玉県社会福祉協議会「感染症予防基礎研修～年に1度は再確認～」
	7/14	埼玉県「放課後児童クラブ巡回支援事業全体研修」
	7/16（ZOOM）	埼玉県「第1回放課後児童クラブ新任支援員研修会」
	10/2	埼玉県「第1回放課後児童クラブ管理者研修」
	10/25～11/7 の間に動画配信視聴	埼玉県社会福祉協議会「個人情報保護研修」
	①11/15. 23. 24・12/8 ②1/19. 20. 24. 26 ③2/7. 20. 22. 28	埼玉県「放課後児童保育室認定資格研修」
	11/20（ZOOM）	埼玉県「第1回放課後児童支援員研修会」
	11/30（ZOOM）	埼玉県「効果的な換気方法に関する研修」
	11/22～12/20 の間に動画配信視聴	埼玉県「子どもの心のケア研修会」
	12/18（ZOOM）	埼玉県「第2回放課後児童支援員研修会」
	1/13	埼玉県「児童関連施設職員向けアレルギー疾患研修会」
	1/15	埼玉県「第2回放課後児童クラブ管理者研修」

2/21～3/6 の間に動画配信 視聴	埼玉県社会福祉協議会「福祉職員の基本的スタンス研 修」
3/7～20 の間に動画配信視 聴	埼玉県社会福祉協議会「虐待防止研修」
3/11	埼玉県「第2回放課後児童クラブ新任支援員研修会」

子育て・高齢者ホームヘルプ事業の実施

1 ホームヘルパー（高齢者生活支援サービス）派遣事業の実施

令和2年度末に事業廃止となりました。

2 子育て支援ホームヘルパー派遣事業の実施

母親が出産直後であるため家事援助を必要とする家庭に対し、子育て支援ホームヘルパーを派遣する制度で、出産直後の退院から1か月以内の母親がいる家庭について、1日2時間まで炊事、買物、清掃、洗濯等の家事援助を行います。ただし、育児に関する支援は行いません。この事業は、平成10年度に市から受託しています。

令和4年度に受託した派遣世帯の活動状況は、次のとおりです。

■ 子育て支援ホームヘルパー月別活動状況 (単位：人、時間)

月	利用者数	ヘルパー実人数	ヘルパー延べ活動時間
4月	3	3	18
5月	1	1	2
6月	0	0	0
7月	1	2	4
8月	2	2	3.5
9月	2	3	19.5
10月	3	4	17.5
11月	1	2	10
12月	1	1	6
1月	1	1	5.5
2月	3	5	23.5
3月	4	6	33.5
計	22	30	143.0

■ 年度別活動状況 (単位：人、時間)

年度	利用者数	ヘルパー実人数	ヘルパー延べ活動時間
平成30年度	33	92	431.0
令和元年度	26	62	297.5
令和2年度	29	56	254.5
令和3年度	14	28	107.9
令和4年度	22	30	143.0

3 養育支援ホームヘルパー派遣事業の実施

若年の妊婦等で妊娠期から継続的な支援が必要な家庭、出産後間もない時期の育児ストレスや産後うつなどにより子育て不安を抱える家庭、虐待のおそれがあり特に支援が必要な家庭などにホームヘルパーを派遣し、生活援助を行う養育支援訪問事業で、平成23年度に市から受託しました。また、市が開催した養育支援に対する職員対象の研修会にも参加し体制を整えましたが、令和4年度中の利用はありませんでした。

訪問介護事業の実施

平成12年度から実施された介護保険制度（総合事業を含む。）に基づき訪問介護事業を実施しました。

令和4年度のホームヘルパー活動実績は、延べ利用者792人で、身体・生活援助派遣時間は、6,180.5時間となりました。

■ ホームヘルパー月別活動状況（介護保険・総合事業） （単位：人、時間）

月	利用者数	ヘルパー 実人数	ヘルパー延べ活動時間		活動時間合計
			身体介護	生活援助	
4月	58	34	184.0	304.4	488.4
5月	59	35	197.8	282.4	480.2
6月	63	36	191.9	303.5	495.4
7月	65	35	205.5	306.7	512.2
8月	65	35	218.3	340.2	558.5
9月	68	35	198.0	341.2	539.2
10月	67	36	188.0	302.2	490.2
11月	67	36	199.3	323.3	522.6
12月	67	36	215.9	301.1	517.0
1月	70	37	226.5	306.1	532.6
2月	72	36	200.1	295.2	495.3
3月	71	35	223.7	325.2	548.9
計	792	426	2,449.0	3,731.5	6,180.5

■ 年度別活動状況 （単位：人、時間）

年度	利用者数	ヘルパー 実人数	ヘルパー延べ活動時間		活動時間合計
			身体介護	生活援助	
平成30年度	878	438	1,911.6	4,925.7	6,837.3
令和元年度	880	411	1,685.1	4,719.6	6,404.7
令和2年度	715	380	1,855.8	3,959.9	5,815.7
令和3年度	746	388	2,417.4	3,677.8	6,095.2
令和4年度	792	426	2,449.0	3,731.5	6,180.5

■ ホームヘルパー（ガイドヘルパー・ホームヘルパーと共通）研修実施状況

月	開催日	内 容	出席者数
4月	18日 2回	令和4年度事業計画 熱中症について	27人
5月	17日 2回	ハラスメントについて 食中毒について	24人
6月	14日 2回	介護技術～腰痛から自分を守る	27人
7月	19日 20日	感染症について	27人
8月	22日 2回	精神疾患について	30人
9月	15日 2回	口腔ケアについて	23人
10月	17日 2回	腰痛予防体操、ストレッチ	32人
11月	15日 2回	虐待防止について	26人
12月	19日 2回	認知症について	30人
1月	17日 2回	法令順守について	24人
2月	16日 2回	ヒヤリハット事例検討	24人
3月	16日 2回	介護技術 おむつの使い方	27人
計	24回		延べ321人

障がい福祉サービス事業の実施

平成15年度に開始された事業で、従来の行政がサービスの利用者を特定し、サービスの内容を決定する「措置制度」から、利用者本位の考えに立つ新しい仕組みの「支援費制度」、そして「自立支援制度」に移行しました。この制度では、利用者である障がいのある方が、サービス事業者との対等な関係に基づき、自らがサービス提供者（事業者）を自由に選択し、契約によってサービスを利用できるようになりました。さらに、平成25年4月には、地域全体で制度の谷間のない支援を提供するという観点から、「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」に改められました。

1 移動支援の実施

知的障がい者、全身性障がい者の方々が社会生活を営む上で、必要な外出をするときに介助をするガイドヘルパー派遣を行いました。

令和4年度の移動支援の活動実績は、延べ利用者数83人で、派遣活動時間（身体介護あり・身体介護なし）は、642.1時間となりました。

■ ガイドヘルパー月別活動時間状況（移動支援）

（単位：人、時間）

月	利用者数	ヘルパー 実人数	ヘルパー延べ活動時間		活動時間合計
			身体介護あり	身体介護なし	
4月	8	13	57.7	0.0	57.7
5月	6	12	47.3	0.0	47.3
6月	9	14	84.8	1.7	86.5
7月	7	14	54.4	0.0	54.4
8月	6	12	41.9	0.0	41.9
9月	6	13	53.5	0.0	53.5
10月	6	11	46.2	0.0	46.2
11月	7	14	52.8	0.0	52.8
12月	7	16	50.4	0.0	50.4
1月	7	15	55.5	0.0	55.5
2月	6	13	43.6	0.0	43.6
3月	8	15	52.3	0.0	52.3
計	83	162	640.4	1.7	642.1

■ 年度別活動状況

(単位：人、時間)

年度	利用者数	ヘルパー 実人数	ヘルパー延べ活動時間		活動時間合計
			身体介護	身体介護なし	
平成30年度	65	85	455.3	311.5	766.8
令和元年度	67	118	465.9	176.6	642.5
令和2年度	59	81	441.8	40.0	481.8
令和3年度	78	103	667.1	108.3	775.4
令和4年度	83	162	640.4	1.7	642.1

2 自立支援ホームヘルパーの派遣

身体・知的・精神障がい者、重度心身障がい者、視覚障がい者に対して、日常生活を営むのに支障がある方にホームヘルパーの派遣を行い、日常生活を支援します。

令和4年度のホームヘルパー活動実績は、延べ利用者数539人で、身体・生活援助の派遣活動時間は、5,915時間となりました。

■ ホームヘルパー月別活動状況

(単位：人、時間)

月	利用者数	ヘルパー 実人数	ヘルパー延べ活動時間		活動時間合計
			身体介護	生活援助	
4月	43	37	281.1	179.4	460.5
5月	44	37	276.1	190.1	466.2
6月	44	36	301.0	206.3	507.3
7月	45	39	331.5	173.8	505.3
8月	44	38	321.6	164.5	486.1
9月	45	36	338.1	163.3	501.4
10月	45	36	365.5	183.3	548.8
11月	46	38	380.5	175.4	555.9
12月	46	38	312.8	152.1	464.9
1月	45	37	294.5	159.6	454.1
2月	45	39	311.4	157.2	468.6
3月	47	37	344.0	151.9	495.9
計	539	448	3,858.1	2,056.9	5,915.0

■ 年度別活動状況

(単位：人、時間)

年度	利用者数	ヘルパー 実人数	ヘルパー延べ活動時間		活動時間合計
			身体介護	生活援助	
平成30年 度	578	429	3,124.5	3,866.7	6,991.2
令和元年度	542	429	2,381.2	3,535.6	5,916.2
令和2年度	490	434	2,484.6	3,158.5	5,643.1
令和3年度	509	430	3,902.2	3,895.4	7,797.6
令和4年度	539	448	3,858.1	2,056.9	5,915.0

地域福祉活動計画の推進

令和4年度は、第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画のスタートの年度でしたが、令和2年当初から続く新型コロナウイルス感染症の影響により地域福祉活動の見通しが立たないこと等から第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画を1年先送りし、令和5年度から令和9年度までを計画期間とする第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画について、新座市地域福祉計画推進委員会及び新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会を4回開催し策定作業を行い、令和5年2月14日に答申されました。

○地域福祉圏域

圏 域 名	含まれる地区
東部第一地区	池田・道場・片山・野寺
東部第二地区	畑中・馬場・栄・新塚
西部地区	新堀・西堀・本多・あたご・菅沢・野火止1～4丁目
南部地区	石神・栗原・堀ノ内
北部第一地区	東北・東・野火止5～8丁目
北部第二地区	中野・大和田・新座・北野

1 新座市地域福祉計画及び新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会

■ 会議等開催状況

開催年月日	議 題
令和4年 5月25日	<p>令和4年度第1回新座市地域福祉計画推進委員会及び新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会</p> <p>(1) 委員長及び副委員長の選出について</p> <p>(2) 諮問</p> <p>(3) 第4次新座市地域福祉計画・新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画等の策定について</p> <p>(4) 第3次新座市地域福祉計画・新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画に係る評価結果報告書について</p> <p>(5) 新座市の地域福祉に関するアンケート調査結果報告書について</p> <p>(6) 第4次新座市地域福祉計画・新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画骨子について</p> <p>(7) 新座市成年後見制度利用促進基本計画骨子について</p> <p>(8) 新座市再犯防止推進計画骨子について</p>

開催年月日	議 題
令和4年 8月19日	<p>令和4年度第2回新座市地域福祉計画推進委員会及び新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会</p> <p>(1) 第4次新座市地域福祉計画・新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画素案について</p> <p>(2) 新座市成年後見制度利用促進基本計画素案について</p> <p>(3) 新座市再犯防止推進計画素案について</p>
令和4年 11月9日	<p>令和4年度第3回新座市地域福祉計画推進委員会及び新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会</p> <p>(1) 第4次新座市地域福祉計画・新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画素案について</p> <p>(2) 新座市成年後見制度利用促進基本計画素案について</p> <p>(3) 新座市再犯防止推進計画素案について</p>
令和5年 2月8日	<p>令和4年度第4回新座市地域福祉計画推進委員会及び新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会</p> <p>(1) 第4次新座市地域福祉計画・新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画、新座市成年後見制度利用促進基本計画、新座市再犯防止推進計画（素案）への意見等について</p> <p>(2) 第4次新座市地域福祉計画・新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画、新座市成年後見制度利用促進基本計画、新座市再犯防止推進計画答申（案）について</p>

2 新座市東部第一地区地域福祉推進協議会（平成25年4月3日設立）

■ 会議開催状況

会 議 名	開催月日・場所・参加人数	主要付議（議決）事項
令和4年度 総会	令和4年5月8日（日） （出席委員24人、委任状提出委員10人）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度事業報告 ○ 令和3年度収支決算報告及び監査報告 ○ 令和4年度事業計画（案） ○ 令和4年度収支予算（案） ○ 委員の承認

運営委員会	令和4年4月12日(火) 中央公民館 2階 講義室 12人	○ 令和4年度総会について ○ 令和4年度事業について
	令和4年6月14日(火) 中央公民館 2階 講義室 21人	○ 令和4年度事業について
	令和4年7月12日(火) 中央公民館 2階 講義室 18人	○ 令和4年度事業について
	令和4年9月13日(火) 中央公民館 2階 講義室 19人	○ 令和4年度事業について
	令和4年10月22日(水) 中央公民館 2階 講義室 22人	○ 令和4年度事業について
	令和4年11月8日(火) 中央公民館 2階 講義室 20人	○ 令和4年度事業について
	令和4年12月13日(火) 中央公民館 2階 講義室 20人	○ 令和4年度事業について
	令和5年1月10日(火) 中央公民館 2階 講義室 13人	○ 令和4年度事業について ○ 令和5年度事業について
	令和5年2月14日(火) 中央公民館 2階 講義室 21人	○ 令和4年度事業について ○ 令和5年度事業について ○ 福進協委員の改選について
	令和5年3月14日(火) 中央公民館 2階 講義室 26人	○ 令和4年度事業について ○ 令和5年度事業について ○ 令和5年度総会について ○ 福進協委員の改選について

■ 事業実施状況

(1) 東一福進協広報紙「かけはし」の発行

令和4年度については、東一福進協広報紙「かけはし」を1月に発行しました。

(2) 「第2回地域の歴史に学ぶ」(まち歩き事業)の実施

「第2回地域の歴史を学ぶ」と題して、法臺寺前住職岩崎信丈氏から地域の歴史や文化財、片山富士など様々なお話をさせていただきました。

開催日時：令和4年9月10日(土) 午前10時～正午

会場：浄土宗 大平山 法臺寺

講師：前住職 岩崎 信丈氏

参加者数：参加者26人、スタッフ8人 合計34人

(3) ホットひといきティータイム(お茶会)の実施

「小さな一歩」(片山一丁目)で11月から毎月第一土曜日に開催しています。開催状況は下記のとおりです。

- ・令和4年11月5日(土) 午前10時～正午 参加者35人
- ・令和4年12月3日(土) 午前10時～正午 参加者24人
- ・令和5年1月7日(土) 午前10時～正午 参加者16人
- ・令和5年2月4日(土) 午前10時～正午 参加者24人
- ・令和5年3月4日(土) 午前10時～正午 参加者26人

(4) 令和4年度に開催を予定していたそのほかの事業について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止しました。

3 新座市東部第二地区地域福祉推進協議会(平成21年3月28日設立)

■ 会議開催状況

会議名	開催月日・場所・参加者数	主要付議(議決)事項
令和4年度総会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面表決にて実施しました。 (令和4年5月25日)	○令和3年度事業報告 ○令和3年度収支決算報告及び監査報告 ○令和4年度事業計画(案) ○令和4年度収支予算(案)
運営委員会	開催なし	

事務局会議	令和4年6月25日(土) 福祉の里・7人	○ 令和4年度事業について
	令和4年10月27日(木) 福祉の里・10人	○ 令和4年度事業について
	令和4年11月24日(木) 福祉の里・9人	○ 令和4年度事業について
	令和4年12月22日(木) 福祉の里・8人	○ 令和4年度事業について
	令和5年1月26日(木) 栄公民館・7人	○ 令和4年度事業について ○ 令和5年度事業について
	令和5年2月23日(木) 栄公民館・13人	○ 令和4年度事業について ○ 令和5年度事業について ○ 令和5年度総会について
	令和5年3月23日(木) 福祉の里・10人	○ 令和4年度事業について ○ 令和5年度事業について ○ 令和5年度総会について

■ 事業実施状況

(1) ふれあいの場づくり

○ たまり場活動

- ・すこやか水曜会・KOTORIの会・歌声広場「ひびき」のたまり場活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。
- ・男のたまり場は、飛沫防止用の仕切りを使用する等の新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて、1月から活動を再開しました。最終週の金曜日に馬場集会所にて、健康マージャンを行いました(1/27、2/24、3/31の3回実施)。

○ まち歩き

- ・「片山郷の北側“黒目の郷を歩く”」と題して、新座市ボランティアガイドの案内で実施しました。

開催日時：令和5年3月19日(日) 午前10時～正午

参加者数：参加者22人、スタッフ11人 合計33人

(2) 地域に活動の場づくり

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東二福進協の活動が中止となっていたため、活動ができませんでした。

(3) お互いを理解し合うために

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東二福進協の活動が中止となっていたためセミナー等も開催せず、視察研修も中止となりました。

(4) 支え合うしくみづくり

- ・町内会、専門職等の他団体との連携は、東二福進協の活動が中止となっていたため取組をしませんでした。

(5) 情報の発信と共有

「せせらぎ通信」は、東二福進協の活動中止に伴い令和2年3月のNo.45号の発刊以降、発刊を中止していましたが、令和5年3月にNo.46号を発刊しました。

4 新座市西部地区地域福祉推進協議会（平成31年2月9日設立）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和4年度は会議等を中止しました。

5 新座市南部地区地域福祉推進協議会（平成19年12月22日設立）

■ 会議開催状況

会議名	開催月日・場所・参加者数	主要付議(議決)事項
令和4年度総会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面表決にて実施しました。 (令和4年5月15日)	○令和3年度事業報告 ○令和3年度収支決算報告及び監査報告 ○令和4年度事業計画(案) ○令和4年度収支予算(案) ○推進委員の選任 ○運営委員の選任 ○役員を選任 ○要綱の一部改正
運営委員会	毎月第1火曜日 石神集会所 (1月のみ第2火曜日)	事業実施について
事務局会議	毎月第4火曜日 栗原ふれあいの家	事業実施について

■ 事業実施状況

(1) しゃべりの家

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から上半期は原則開催を中止としましたが、下半期に活動を再開しました。

名 称	実施予定	実施回数・参加者数	場 所
栗原みんなで楽しむ家	第2水曜日	11回・78人	栗原第一集会所
ふれあいサロン栗原	第3木曜日	11回・200人	栗原ふれあいの家
おしゃべりの家武野	第2金曜日	9回・66人	武野集会所
おしゃべりの家石神	第2火曜日	10回・139人	石神集会所
北原おしゃべりの家	第1木曜日	11回・292人	北原集会所

(2) 「しゃべりの家」の集い

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

(3) 地域福祉情報の共有化

広報紙「南の風」（4月・7月・10月・1月）を発行しました。号外（地域で子育てチラシ）を1回発行しました。

(4) 研修会の開催（偶数月の運営委員会後に実施）

- ・ 6月：「地域福祉と福進協について」 新座市福祉政策課 中村副課長
- ・ 8月：「南部高齢者相談センターについて」
為我井委員、太田氏（南部高齢者相談センター職員）
- ・ 10月：「成年後見制度について」 宮部委員
- ・ 12月：「防災グッズの紹介」 ケアプラザ彩ふく職員

(5) 他地区福進協との連携活動

- ① 新座市福祉フェスティバル
- ② 新座市ボランティアまつり
- ③ 新座市地域福祉推進連絡協議会視察研修

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、各事業が中止となりました。

(6) 独自イベントの開催

- ① 「地域で子育てみんなであーそぼー」

開催日：令和4年12月11日（日）

場 所：栗原公園

来場者：306人（スタッフ含む）

内 容：綿菓子・ポップコーン配布、竹ぼっくり作り、輪投げ、折り紙、鬼の穴（玉入れ）、段ボール鉄砲、紙飛行機、バルーンアート、なわとび

② 「男の料理」

③ 「ミニコンサート」

※②・③は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

6 新座市北部第一地区地域福祉推進協議会（平成28年2月25日設立）

■ 会議開催状況

会議名	開催月日・場所・参加者数	主要付議（議決）事項
令和4年度総会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面表決にて実施しました。 （令和4年5月25日）	○令和3年度事業報告、収支決算報告、監査報告について ○令和4年度事業計画（案）、収支予算（案）について ○委員、会長、運営委員及び事務局の選任
事務局会議	令和4年4月27日（水） 野火止公民館 9人	○今後の会議及び事業について ○令和4年度総会について
	令和4年6月1日（水） 野火止公民館 7人	○書面表決総会の結果について ○これからの事業の内容及び進め方
	令和4年6月22日（水） 野火止公民館 6人	○全員参加による運営委員会の開催内容について
	令和4年11月30日（水） 野火止公民館 7人	○運営委員会でのアンケート結果について ○今後の事業及び会議の方向性について

全委員参加運営委員会	令和4年11月9日（水） 新座市民会館会議室 30人	○北一福進協実施事業のまとめと意見交換（平成29年度から令和元年度まで実施してきた各種取組の解説付きスライドショー） ○意見交換とアンケート実施
	令和4年12月21日（水） 野火止公民館 31人	○地区内4会場茶話会の開催方法について ○各プロジェクト今後の取組について①
	令和5年1月25日（水） 野火止公民館 26人	○各プロジェクト今後の取組について②
	令和5年2月22日（水） 野火止公民館 23人	○地区内4会場茶話会の再開について① ○各プロジェクト今後の取組について③
	令和5年3月22日（水） 野火止公民館 26人	○地区内4会場茶話会の再開について② ○各プロジェクト今後の取組について④

■ 事業実施状況

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和4年度は予定していた事業を中止しました。

7 新座市北部第二地区地域福祉推進協議会（平成19年7月22日設立）

■ 会議開催状況

会議名	開催月日・場所・参加者数	主要付議(議決)事項
令和4年度総会	令和4年4月29日(金) 大和田公民館 体育室 出席者42人・委任状23人	○令和3年度事業報告 ○令和3年度収支決算報告及び監査報告 ○令和4年度事業計画(案) ○令和4年度収支予算(案) ○委員の交代、欠員補充について
中間報告会	令和4年10月2日(日) 「午前の部」 新座ふれあいの家 軽体育室 出席者41人 「午後の部」 北野ふれあいの家 軽体育室 出席者30人	○中間事業報告会 ○第4次地区活動計画策定について (グループ討議) ○津軽三味線演奏会(午前の部) ○遊びの広場ガチャガチャバンド(午後の部) (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、参加者の密集を防ぐため、午前及び午後の部の2部構成として同一内容で開催しました。)
運営委員会	毎月第4土曜日(原則) 新座ふれあいの家ほか	12回開催
四役会	毎月第4火曜日 新座一丁目集会所ほか	12回開催

※ 四役会とは、会長、副会長、書記、会計の会議をいう。

■ 事業実施状況

(1) 情報の集積・共有・発信

- ① きたにかわらばん(第85号～第90号)を隔月6回発行し全戸配布(一部の町内会は回覧)しました。
- ② ふれあい防災キャンプ(5月14日(土)から15日(日))、地域ボランティア説明会(5月24日(火)、6月4日(土))、きたにフェスタ冬(2月26日(日))において、活動紹介のパネル展示による活動紹介を行いました。
- ③ 十文字学園女子大学の公開講座、同大学ボランティアセンター及び佐藤陽教授の

ゼミ、大和田公民館の公民館まつりにおいて、スライドやパネル展示による活動紹介を行いました。

- ④ 北二福進協の活動紹介リーフレットを作成し、会議や事業などで配布して周知を図りました。

(2) 地域ボランティア活動の推進

① 福祉教育へのかかわり

小・中・高等学校での福祉体験学習は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

② 地域ボランティア説明会の開催

5月24日と6月4日に新座ふれあいの家において開催し、活動内容をスライドにて紹介し、ボランティアへの登録の案内を行いました（令和5年3月現在の登録者250人）。

③ 地元の農業・商店等との連携の模索

福進協のイベント「きたにフェスタ」で、地元農園グループに焼き芋の模擬店の出店を依頼し、パン焼きイベントでは農園で収穫した果物で作ったジャムを寄付していただきました。

また、商店会に所属している「スペースともに」において、商店主の方に地域の歴史や自らの体験談などの講話をしていただきました。

(3) たまり場づくり

① たまり場プロジェクト

まったり木曜（毎週木曜日）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から昨年度から見合わせていましたが、令和2年5月から引き続き新座二丁目商店街にある「スペースともに」を借りて、毎週木曜日に「まったり木曜臨時立ち寄り所」を午前9時30分から午後3時まで全46回開催しました。

（参加者延べ2,450人）

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を勘案しながら、7月から新座ふれあいの家で「まったり木曜日」を毎週試行的に再開し、地域住民の交流や情報交換などの場となりました。

（33回開催、延べ671人）

- ② まったり体操は、毎週月曜日の午前10時から11時に新座二丁目ふれあい公園において（全35回、参加者延べ911人）、毎週木曜日の午前9時30分から11時に新座ふれあいの家軽体育室において（全45回、参加者延べ1,083人）開催しました。

(4) 支え合いの仕組みづくりに向けて

① 「地域ささえあいネット」

毎月第1火曜日の午後7時から8時30分まで、オンライン会議形式を取り入れ12回開催しました。オンラインため、遠方の参加者が増加しました。

また、対面式会場とオンライン参加を併用したハイブリット型の開催も試行しました。

(会議参加登録者は、昨年度の75人から13人増加し88人となりました。)

② 「地域支え合いセンターきたに」

新座一丁目集会所にて毎週火曜日の午前10時から正午まで、北部第二地区民生委員・児童委員、北部第二高齢者相談センターや地域の福祉関係施設の介護専門職員が相談員となり、地域住民の方々の困りごと相談の場を設けました。相談を受ける場、相談員である専門職や民生委員・児童委員同士の情報交換の場として有効に運営しています。

(9月には高齢者相談センターによる介護保険についての研修会を実施しました。年間40回開催、毎回7人から9人の民生委員・児童委員が担当しています。)

(5) 地域を知るために (地域の宝さがしプロジェクト)

① 「道草くお一たー」月2回程度 (夏季期間の7月から9月までは除く。)

地域での散歩コースを設定し、にいバスの使用、車いす体験を実施するなどの企画で各回テーマを決め、散歩マップを作成し、新座市内のみならず近隣市をコースに含めて実施しました。

(全17回実施、延べ246人が参加)

② 「宝さがし講座」夏季期間 (7月から9月の月1回開催)

気温の高い夏季期間中で、道草くお一たーに代わる活動として、室内でのワークショップや活動内容をスライド上映で振り返りを行い、地元のゲストスピーカーを招いて地域の歴史などをテーマとして講座を開催し、地域への理解を深めました。

(全3回開催、延べ49人が参加)

(6) 安心・安全なまちへ (防災プロジェクト)

① 「ふれあい防災キャンプ」 (新座小学校にて)

今年度も新型コロナウイルス感染症に十分配慮しながら、市役所、社協、新座消防署、小学校の協力を得て5月14日(土)から15日(日)にかけて実施しました。

(参加者数 106人)

② 「防災講座」の開催

地域での防災意識の向上と次年度の事業へつなげることを目的に以下の講座を3回開催しました。

9月7日（水）避難所情報センターの役割を考える（要支援者の安否確認）

10月5日（水）避難所での困りごと、みんなで知恵を出し合うワークショップ

11月2日（水）地域の若い世代と協同するため

(7) 共に育ち・学ぶまちへ（遊び場プロジェクト）

「遊びの広場」を毎月の第4日曜日午後に東裏公園（冬季の11月から2月までは、北野第二公園）にて市内大学（立教大学、十文字学園女子大学、跡見学園女子大学）の学生ボランティアの協力を得て開催しました。

（全10回実施し、延べ430人参加）

(8) イベントの実施・出会いと交流の場づくり

① 「みんなでピンポン」として、毎週木曜日の午後1時から5時30分まで新座ふれあいの家の軽体育室にて、卓球による地域住民の交流の場として実施しました。

（全51回実施し、延べ790人が参加）

② 大和田公民館まつりに11月6日（日）に参加し、パネル展示等で北二福進協の活動紹介を行いました（まつり会場の休憩所の運営も行いました。）。

③ 「きたにフェスタ冬」を2月26日（日）に北野第二公園にて開催し、子どもたちを中心に多くの住民の方々の参加があり、地域交流が図られました。

きたにフェスタ冬は、遊びの広場に参加している保護者、立教大学や跡見学園女子大学の学生、子育て支援センターや児童センターの職員などが実行委員会に参加していただき、対面やオンラインによる4回の会議を経て開催しました。

8 新座市地域福祉計画及び新座市社協地域福祉活動計画に基づく進捗状況等の打合せ会議

新座市地域福祉計画及び新座市社協地域福祉活動計画に基づき、原則毎月第3水曜日に、市職員と新座市社協職員による地域福祉推進協議会の地域福祉活動報告及び計画等について情報の共有を図るために打合せ会議を開催しました。

（4月20日（水）、5月18日（水）、6月15日（水）、7月20日（水）、9月21日（水）、10月19日（水）、11月16日（水）、12月22日（木）、1月18日（水）、2月15日（水）3月17日（金））

9 新座市社協地域福祉推進連絡協議会事業

各地区福進協の相互理解を深めるとともに、共通課題への取組や関係機関との連携を通して、協力体制を図り、活動の充実と発展を図るため、地域福祉推進連絡協議会を設置し（H26.4.1施行）、東部第一・東部第二・西部・南部・北部第一・北部第二地区の福進協委員を中心に事業を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から総会及び会議のみ開催しました。

会議名	開催月日・場所・参加者数	主要付議(議決)事項
令和4年度総会	令和4年5月27日(金) 商工会館 大会議室 出席 16人	○各地区委員について ○役員(会長・副会長)の選任について ○令和3年度事業報告について ○令和4年度事業計画について(案)
会議	令和4年12月21日(水) 第三庁舎 大会議室 出席 15人	○視察研修について ○情報交換について

特定相談支援事業の実施

特定相談支援事業は、障がい者（児）が福祉サービス等を利用する際に、サービス等利用計画の作成及びサービス利用中のモニタリングを行うものであり、新座市から指定を受け、平成26年7月に開始しました。

令和4年度の継続利用は97人、新規契約が11人、途中解約が9人となり、年度末契約者は99人でした。相談支援専門員1名が作成した利用計画の件数は106件、モニタリング件数は219件で合計325件となりました。

■ 特定相談支援事業

(単位：件)

年 度	利用計画 作成件数	モニタリン グ件数	契 約 件 数			
			新 規	継 続	解 約	年度末 契約数
令和2年度	100	218	12	96	10	98
令和3年度	103	225	12	98	10	100
令和4年度	106	219	11	97	9	99

■ 利用計画作成及びモニタリング月別件数

(単位：件)

項目 月	利用計画作成件数		モニタリング件数		合 計	
	成人	児童	成人	児童	成人	児童
4月	12	0	18	0	30	0
5月	7	0	23	0	30	0
6月	7	0	22	2	29	2
7月	11	0	17	2	28	2
8月	6	0	15	1	21	1
9月	7	0	20	0	27	0
10月	8	2	27	0	35	2
11月	7	1	3	0	10	1
12月	11	2	15	0	26	2
1月	10	0	16	0	26	0
2月	6	1	16	0	22	1
3月	8	0	22	0	30	0
小計	100	6	214	5	314	11
合計	106		219		325	

居宅介護支援事業の実施

平成12年度から実施された介護保険制度に基づき居宅介護支援事業（ケアプランの作成）を実施しました。令和4年度に介護支援専門員（ケアマネジャー）3.7人で作成したケアプランは、延べ1,623件となりました。また、介護度別ケアプラン担当件数は、次のとおりです。

■ ケアプラン担当件数

（単位：人、件）

月	総合事業 対象者	介護予防サービス		介護サービス					合計
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4月	0	1	2	72	30	20	20	10	155
5月	0	1	2	73	30	20	23	10	159
6月	0	1	2	71	28	20	20	9	151
7月	0	1	2	68	26	16	20	9	142
8月	0	1	2	55	23	15	20	9	125
9月	0	1	2	57	24	15	21	9	129
10月	0	1	2	58	26	16	21	11	135
11月	0	1	2	57	26	17	20	9	132
12月	0	1	2	57	26	15	21	9	131
1月	0	1	2	55	26	12	20	8	124
2月	0	1	2	52	27	12	19	8	121
3月	0	1	2	49	28	14	17	8	119
計	0	12	24	724	320	192	242	109	1,623

* 総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）は、「要支援1・2」の方と新たな対象者区分である「事業対象者」の方が利用できます。「事業対象者」は、基本チェックリストの判定該当基準のいずれかに該当し、かつ、高齢者相談センター（地域包括支援センター）によるアセスメントにおいてサービスの必要性があると判断された方となります。

■ 年度別担当件数

(単位：人、件)

年度	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
令和元年度	28	0	26	702	287	249	184	184	1,660
令和2年度	27	0	24	685	334	268	163	207	1,685
令和3年度	4	8	24	739	351	237	201	154	1,718
令和4年度	0	12	24	724	320	192	242	109	1,623

■ 要介護認定代行申請件数

新規	更新	変更
0件	113件	24件

高齢者相談センター（地域包括支援センター）の運営

市内7か所（令和5年度から8か所）に設置された高齢者相談センター（地域包括支援センター）のうち、東部第一高齢者相談センターを平成19年度に市から受託し、16年目の運営を行いました。

■ 東部第一地区（池田・道場・片山・野寺）の状況

令和4年度（令和5年1月1日現在）

区 分	人 口（人）	65歳以上（人）	高齢化率（%）
池 田	3, 205	848	26.5%
道 場	1, 643	565	34.4%
片 山	7, 531	2, 007	26.6%
野 寺	9, 964	2, 815	28.3%
計	22, 343	6, 235	27.9%
市全体	165, 730	42, 677	25.8%

令和3年度（令和4年1月1日現在）

区 分	人 口（人）	65歳以上（人）	高齢化率（%）
池 田	3, 236	862	26.6
道 場	1, 653	571	34.5
片 山	7, 564	1, 987	26.3
野 寺	10, 044	2, 860	28.5
計	22, 497	6, 280	27.9
市全体	166, 108	42, 823	25.8

令和2年度（令和3年1月1日現在）

区 分	人 口（人）	65歳以上（人）	高齢化率（%）
池 田	3, 218	862	26.8
道 場	1, 691	575	34.0
片 山	7, 496	1, 977	26.4
野 寺	10, 168	2, 874	28.3
計	22, 573	6, 288	27.9
市全体	166, 208	42, 575	25.6

■ 介護予防給付事業

介護保険制度にて要支援1・2に認定された高齢者の介護予防給付のサービス・支援計画表（ケアプラン）を作成しました。

ケアプラン作成件数

（単位：件）

区 分	要支援1	要支援2	小 計	うち委託作成分
4月	17	25	42	4
5月	21	25	46	4
6月	22	25	47	4
7月	22	26	48	3
8月	21	27	48	2
9月	21	27	48	4
10月	21	26	47	3
11月	24	26	50	3
12月	21	28	49	3
1月	19	33	52	3
2月	21	30	51	3
3月	21	29	50	3
合 計	251	327	578	39
平成30年度	288	323	611	169
令和元年度	228	288	516	90
令和2年度	179	286	465	68
令和3年度	169	321	490	63

■ 介護予防ケアマネジメント事業

平成29年度から始まった要支援1・2及び事業対象者に認定された高齢者の新座市介護予防・日常生活支援総合事業のサービス・支援計画表（ケアプラン）を作成しました。

ケアプラン作成件数

（単位：件）

区 分	要支援1	要支援2	事業対象者	小 計	うち委託作成分
4月	31	31	17	79	2
5月	29	33	17	79	2
6月	27	29	17	73	2
7月	26	31	17	74	3
8月	29	30	17	76	3
9月	26	31	17	74	3
10月	27	32	17	76	3
11月	26	34	14	74	3
12月	32	35	13	80	3
1月	30	32	10	72	2
2月	28	33	13	74	4
3月	28	32	13	73	4
合 計	339	383	182	904	34
平成30年度	158	151	665	974	139
令和元年度	157	157	533	847	81
令和2年度	197	219	418	834	45
令和3年度	318	344	255	917	26

※事業対象者とは、基本チェックリスト（心身の状況を確認するチェック表）の結果、生活機能の低下がみられた方

■ 総合相談・支援事業

介護や生活を中心とした相談支援を実施しました。

相談対応件数

(単位：件)

区 分	電話相談	来所相談	訪問相談	小 計
4月	365	22	100	487
5月	429	27	117	573
6月	418	28	130	576
7月	417	31	83	531
8月	421	38	104	563
9月	370	32	117	519
10月	463	32	136	631
11月	388	32	106	526
12月	449	22	160	631
1月	476	30	110	616
2月	434	35	109	578
3月	508	42	145	695
合 計	5,138	371	1,417	6,926
平成30年度	3,077	309	1,965	5,351
令和元年度	3,300	285	1,947	5,532
令和2年度	4,197	277	1,231	5,705
令和3年度	4,871	326	1,571	6,768

また、相談事業の一環として「出前介護相談」を実施しました。

① 第1回出前介護相談

日時／場所／参加者

令和4年9月15日（木）

午前10時～11時／池田前原集会所／7人

午後2時～3時／片山集会所／4人

内 容 骨密度測定、健康相談、介護相談

② 第2回出前介護相談

日時／場所／参加者

令和4年10月20日（木）

午前10時～11時／道場一丁目集会所／6人

午後2時～3時／野寺集会所／19人

内 容 骨密度測定、健康相談、介護相談

■ 権利擁護事業

成年後見制度や高齢者虐待対応を行いました。

相談対応件数

区 分		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
成年後見制度相談件数		5件	12件	8件	10件	11件
高齢者虐待	相談件数	0件	1件	4件	5件	2件
	訪問件数	0件	0件	3件	6件	4件
	立入件数	0件	0件	0件	0件	0件

■ 包括的・継続的ケアマネ支援事業

地域のケアマネジャーを支援するため、相談事業と地域ケア会議を開催し、事例検討や制度の勉強会などを行いました。

区 分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度
地域ケア会議の開催	12回	0回	5回	12回	12回
ケアマネジャーからの相談件数	46件	48件	58件	59件	97件

■ 新座市認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを市民の手によって作っていくことを目指して養成講座を開催しました。

①第1回

日 時 令和4年7月21日（木）午前10時～正午

会 場 野寺集会所

参加者 10人

②第2回

日 時 令和4年8月25日（木）午前10時～正午

会 場 中央公民館

参加者 5人